



8月7日 東京都作業部会資料

「小型無停電電源装置の設置等業務委託」の契約変更

東京2020大会組織委員会 会場整備局 エネルギー部

審議事項

- 大会期間中において、IBC/MPC、選手村および全競技会場の放送機器、計測用機器ならびにTECサーバー機器の電源の信頼性を高めるため、IOC要件により小型無停電電源装置(以下、「小型UPS」という。)を、委託先よりレンタルした。
- 今回、大会延期等により、小型UPSの維持管理等について、組織委員会が契約変更を行う。

委託件名:小型無停電電源装置の設置等業務委託

委託先(契約先):株式会社NTTファシリティーズ株式会社

1.契約変更の内容

(1) 大会延期前の追加分

赤文字:契約変更の範囲

緑文字: 別途契約

1-1	小型UPSの海上輸送(国際輸送)回数の追加
1-2	IBC用のフォークリフト手配
1-3	東京アクアティクスセンターへの小型UPS搬入時の養生作業

(2) 大会延期の影響による追加分

	2-1	小型UPSの撤去作業(TR·TEV:10会場分)
別別	2-2	NTT-F賃貸倉庫延長の賃貸費
	2-3	選手村倉庫での小型UPSの補充電作業
	2-4	選手村TPC倉庫の充電設備新設工事
	2-5	選手村TPC倉庫への小型UPSの運搬・搬入

2. 各契約変更の内容(大会延期前の追加分)

本委託の契約時点(2019年10月)では、テクノロジーリハーサル(TR)の実施会場が調整中であったため、詳細な作業工程、小型UPSの必要容量(VA)、必要台数が未確定の部分もあり、具体的に準備を進めていく中で、以下の追加作業が必要となった。

1-①小型UPSの海上輸送(国際輸送)回数の追加

- 2020年2月~5月実施計画のTRやTEVに使用する、計測用機器とTECサーバー機器の小型 UPSを、設営期限に間に合わせるため、早期の納品が必要となる。
- ABBの海外工場からの出荷を分割し、海上輸送(国際輸送)を3回追加した。
- 輸送回数:計6回(原契約は、海上輸送3回まで、以降は追加費用となる)

1-② IBC用のフォークリフト手配

- IBCでは、輸送局(LOG)手配のフォークリフトが、小型UPSの設営期限より後工程であった。
- そのため、車上から小型UPSを荷下ろしするフォークリフトと運転手を手配した。(1日分)

1-③ 東京アクアティクスセンターにおける小型UPS搬入時の養生作業

- 会場への搬入時に、床養生を実施した。
- 小型UPSの搬入ルート上に、他FAの作業が無く、共用することができなかった。
- VNIとの相談検討の結果、NRGにおいて実施することとなった。

3. 各契約変更の内容(大会延期の影響による追加分)

2-① 小型UPSの撤去作業(TR·TEV:10会場分)

- 2020年2月~5月実施計画のテクノロジーリハーサル(TR)やテストイベント(TEV)の準備中に大会が延期となり、会場に残置となった。
- 会場残置の小型UPSは、156台/14会場。(うち会場設置済は、118台/10会場)
- ・ 小型UPSは、選手村TPC倉庫にて充電を行うため、会場より全156台を回収した。
- 今回の契約変更は、118台の撤去作業が対象。(7月10日に、全台数撤去済み)
- 会場からMDC倉庫への搬入は、LOG便で実施した。(LOG便は他FAと複数会場を共用)
- 現在、回収した156台は、選手村TPC倉庫にて保管中。

2-② NTT-F賃貸倉庫の延長費

- 小型UPSが海外工場から納品され、会場設置までの間、一時保管する賃貸倉庫。
- 原契約の賃貸期間は、2020年5月末で満了。そのため、小型UPSを選手村TPC倉庫へ移送を完了するまでの2ヵ月間の延長費が発生。(7月30日移送完了)

3.各契約変更の内容(大会延期の影響による追加分)

2-③ 選手村TPC倉庫での小型UPSの補充電作業

- NTT-F技術者による定期的な充電作業を実施する。
- 充電作業は、8月、9月、1月の計3回実施する。
- 実施回数を4回から3回へ計画変更した。(コスト抑制)
- 選手村TPC倉庫は、空調が無く温度、湿度管理が困難なため、自然放電率が高い夏季は、 8月と9月に充電を実施する。
- 小型UPS対象台数: 2,219台

【別途検討事項:本委託とは別対応】

- 8月の充電完了後、実負荷試験による蓄電状態を確認予定。
- 8月に充電したUPSからサンプル試験、実施方法は検討中。(9月の充電前に実施)

4.スケジュール(大会延期の影響による追加分)







TOKYO 2020